



日本海洋学会

The Oceanographic Society of Japan

会長：日比谷 紀之

防災連携委員：升本順夫 丹羽淑博

海洋に関する研究を物理的、化学的、生物的なアプローチで行う研究者、海洋生態系や水産に関する研究を行う研究者や関連機関職員などが中心となって、研究発表や意見・情報交換などを行う、海洋学に関する我が国最大の学会。

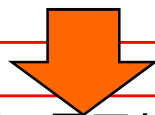
会員数：約1600名。



日本海洋学会と防災

対象となる災害

- ✓「自然災害」津波、高潮、異常潮位、海岸浸食、フリークウェーブ、赤潮、青潮などの古典的な海洋災害
- ✓「人為的災害」近年特に問題となっている、温暖化に伴う海面上昇や海洋酸性化、化学物質や人工放射性物質、瓦礫、海洋ゴミなどによる海洋汚染災害



これら海洋災害の原因となる海洋現象や深く関連する海洋変動過程を観測、分析、解明し、予測を行う。

東日本大震災への対応

- 震災対応ワーキンググループを設置(期間'11年4月～'13年3月)し、観測・分析・モデリング・生態系への影響等を検討
- 行政への提言(3報)やメディアへの積極的な発信